



令和8年1月30日(金)「第2回みんなの湿原小委員会」が開催されました。

■開催概要

小委員会には個人14名、団体13団体、関係行政機関7機関が出席しました。会場とオンライン(Zoom)とを併用して開催され、各事務局からの取り組みの報告がありました。会議後半ではワークショップ形式で目標の確認や委員同士の交流を深めました。

発行日：令和8年2月27日

●全体構想の見直し事業点検について

- 2005年3月に策定した「釧路湿原自然再生全体構想」は、協議会における取り組みの基本的な考え方やルールを示したものと
- 10年ごとに施策及び評価方法の点検、見直しが必要
- 20年目を迎える今年度に見直しワーキンググループ(WG)を設置
- 2ヵ年かけて見直しを行い、令和7年度は骨子(構成)案の作成を目指す

- 釧路湿原では、10の「事業実施計画」が策定されている
- これらの取組は、実施計画作成者が進捗状況を点検し、各小委員会で確認・討議を実施
- みんなの湿原委員会では、下表の2事業の点検が対象
- 作成された点検シート等を参照し、全体構想5章の施策ごとの取組状況の整理、成果の評価、今後の展望を整理

| 担当小委員会 | 事業地区名等 | 実施者(主担当機関) | 事業開始 | 実施計画 | 全体構想概要紹介 | 今回の点検 |
|------------|--------|------------------------|------|--------|----------|-------|
| 旧地域づくり小委員会 | 行動計画 | 釧路開発建設部治水課・釧路総合振興局・環境省 | 2015 | - | | 必要 |
| 旧再生普及小委員会 | 行動計画 | 環境省釧路自然環境事務所 | 2004 | (2005) | p16 | 必要 |

●会議の後半では「ワークショップ」を開催しました

自己紹介タイム

自己紹介カードを作成して、お互いの取組みや困っていること、協力してほしいことなどを発表し、共有しました。



様々な立場の方が参加していることがわかりました。

テーブルトークタイム

少人数のグループに分かれて、テーブルごとにお互いの思いや活動について話し合いました。(席替えをして2回)

少し時間が足りなかったですね

少人数のグループに分かれると話がはずみます!



まとめ・発表タイム

それぞれのテーブルで、どんな話が出ていたのか発表し、共有しました。



自己紹介カード

次回の小委員会で取り上げる議題も抽出できそうです。

みんなの湿原小委員会の詳しい議事の内容および会議資料はホームページでご覧いただけます。

環境省 釧路湿原自然再生プロジェクト
湿原データセンター

メインコンテンツの資料室からご覧ください。こちらからもどうぞ→



第2回 みんなの湿原小委員会 出席者名簿 (敬称略、五十音順)

個人 14名

- 赤坂 泰志
- 川嶋 啓太
- 川西 亮太[北海道教育大学 教育学部 釧路校]
- 君塚 孝一[(有)自然文化創舎]
- 坂井 一浩[八千代エンジニヤリング(株) 北海道営業所]
- 櫻井 一隆
- 杉澤 拓男
- 高崎 優子[北海道教育大学 教育学部 釧路校]
- 中村 研二[釧路公立大学 地域経済研究センター]
- 橋本 敏彦
- 平岩 誠[カヌーショップひらいわ]
- 平間 清[(有)平間ファーム]
- 松橋 尚文[釧路自然保護協会]
- 山本 太郎[一般財団法人 北海道河川財団]

団体 13団体

- 王子ホールディングス株式会社
[王子木材緑化株式会社 帯広営業所 所長/細田 義仁]
- 環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)
[フェロー/久保田 学]
- 釧路川カヌーネットワーク協会[会長/小川 清史]
- 釧路観光連盟[専務理事/長沼 大平]

団体(つづき)

- 釧路国際ウェットランドセンター[事務局次長/岡部 雅之]
- 釧路自然保護協会[松橋 尚文]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会[代表幹事/芳賀 孝朋]
- 釧路湿原国立公園連絡協議会[事務局次長/岡部 雅之]
- 釧路武佐の森の会[会長 高島 優]
- 公益財団法人 北海道環境財団[企画事業課 主査/松本 真由]
- 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム[上席研究員/横山 洋]
- さっぽろ自然調査館[代表/渡辺 修]
- 特定非営利活動法人 トラストサルン釧路[石井 滋]

関係行政機関 7機関

- 環境省 釧路自然環境事務所[所長/岡野 隆宏]
- 釧路市[市民環境部 環境保全課 自然保護係 担当係長/岡部 雅之]
- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部
[釧路河川事務所 所長/西藤 浩二]
- 標茶町[企画財政課 企画調整係 主事/加藤 光輝]
- 北海道教育庁 釧路教育局[社会教育指導班 主査/角田 淳]
- 北海道 釧路総合振興局
[保健環境部 環境生活課 自然環境係 主任/渡邊 博重]
- 林野庁 北海道森林管理局
[釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長/阿地 克美]

資料の公開方法

各委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページで公開しています。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会運営事務局
TEL0154-23-1353 FAX0154-24-6839

※みんなの湿原小委員会担当事務局：環境省釧路自然環境事務所
TEL0154-32-7500 FAX 0154-32-7575



みんなの湿原小委員会について

釧路湿原自然再生協議会では、釧路湿原自然再生全体構想策定から20年を契機に、議論の活性化や持続的な協議会運営などを鑑み、昨年7つの小委員会を3つに再編成しました。

みんなの湿原小委員会は、「旧再生普及小委員会」と「旧地域づくり小委員会」が一つになった小委員会です。



第2回みんなの湿原小委員会 開催状況

これからのみんなの湿原小委員会の目的と実施内容

今後のみんなの湿原小委員会での基本方針及び討議内容を共有しました。

★基本方針

- 自然再生の取組みの情報発信、環境教育の推進、市民参加の促進等
- 観光振興や一次産業との連携、湿原の賢明な利用のためのルールづくり等



取り組み状況の報告 以下の取り組みを実施しました。

●観光事業者との連携

○観光事業者と連携することで目指すこと

[協議会] 釧路湿原周辺の観光事業者の自然再生事業への理解は、観光客等の一般の方々への事業周知にもつながり、湿原の環境保全の理解促進につながる。

[観光事業者] 自然再生事業が、環境学習や観光コンテンツの一つとして、ツアーの充実やビジター満足度の向上に寄与する。

○令和7年度の実施内容

自然再生事業箇所の利活用における課題やニーズを把握するため、ヒアリングを実施しました。

[ヒアリング実施先] 標茶町観光協会
[ヒアリング結果]

- 茅沼地区の木道は歩きやすく、観光客にも好評
- 標茶町の魅力を伝えつつ、保全と観光のバランスが重要
- 自然再生箇所の認知度は低い
- 標茶町の認知度向上や滞在促進のきっかけになることが期待できる 等



ヒアリング状況

[ヒアリング実施先] 鶴居村
[ヒアリング結果]

- 環境教育(小学生及び村民対象)において、自然再生事業地を活用する可能性は高い
- 認定ガイド同行限定での特別感のあるモニターツアーの実施等、利活用を積極的に検討したい
- 環境負荷低減のため、利用ルールの明確化等、適正な利用を図る必要がある 等



ヒアリング状況



●農業事業者との連携

○農業事業者と連携することで目指すこと

[協議会]釧路湿原周辺の農業事業者からの負荷排出量低減の協力は湿原の環境保全に直接つながる。

[農業事業者]取り組み内容が世間に知られることで農業事業者や生産物への信用等の高まりに寄与する。

○令和7年度の実施内容

畜産農家の環境保全の取り組みの確認と、それらの取り組みの情報発信を目的にヒアリングを実施しました。

[ヒアリング実施先]株式会社ホクチクファーム標茶分場
[ヒアリング結果]

- 使用後の敷料を堆肥化し、自社の畑や近隣畑作農家で全量を有効活用し、その畑で収穫された牧草を使用する地域内循環を実施
- 地球温暖化対策として、メタン削減のための機能性飼料を使用することで環境保全に寄与 等



ヒアリング状況

●釧路湿原右岸堤防の利活用ルールの検討

(「釧路川流域かわまちづくり」(かわまち)との連携)

○目的

右岸堤防の利活用時のルール・マナーを設定し、自然散策や環境学習の場としての活用を図るほか、サイクリングやホーストレッキング等のアクティビティの適正利用を図る。

○今後の方針

- 釧路湿原の保全と利用(ワズユース)に基づき、鶴居村や釧路市等の自治体や関係者とかわまちの中で検討していきたい。
- 地域主体での検討を進めるため、かわまちと情報共有、連携しながら進めていく方針とし、小委員会で見聞・助言をしていただきたい。



ホーストレッキング 「水・物質循環」現地見学会 サイクリング

●湿地カード(釧路国際ウェットランドセンター)

●釧路国際ウェットランドセンターは設立30周年を記念し、釧路管内にある四つのラムサール条約登録湿地「釧路湿原」「阿寒湖」「厚岸湖・別寒辺牛湿原」「霧多布湿原」の魅力発信しようと「釧路管内版湿地カード」を作成し、令和7年12月より配布を開始しました。

●今回作成された湿地カードは8種類で、新潟市が発案した「湿地カード」の規格に準じ、表面に湿地の写真、裏面にデータや概要、特色などが記載されています。



釧路管内版湿地カード

案内チラシ

●自然再生事業箇所の利活用推進

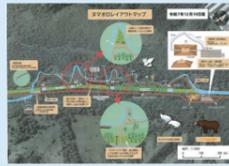
○背景

自然再生事業箇所を地域で有効に利活用できるよう、自治体と一緒に取り組みを推進するため、自然再生事業箇所の整備とともに令和4年度より開始しています。

○令和7年度の実施内容

これまで実施してきた現地視察や意見交換、自治体との継続的な関係づくり、利活用に向けた方向性の意見交換をさらに深め、具体的な利活用の方針を定め、レイアウトマップに反映させる作業に取り組みました。

[対象事業地]ヌマオロ地区旧川復元事業地(標茶町)
幌呂地区自然再生事業地(鶴居村)



ヌマオロレイアウトマップ



幌呂レイアウトマップ

●「かわたび×うまたび」・「かわまち」

○鶴居どさんこ牧場 釧路湿原1周の旅

- 鶴居どさんこ牧場30周年記念の釧路湿原1周の旅のドローン撮影や旧岩保木水門の内部見学などを支援し、プログラムの充実に寄与
- ツアー主催者へのアンケートを行い、釧路湿原右岸堤防等の利活用の可能性や課題を整理



「釧路湿原1周の旅」実施状況



旧岩保木水門の内部見学

●アドベンチャートラベル(AT)コンテンツの充実と

釧路管内の魅力発信

(1) 首都圏・アウトドアを好む層などへの発信の強化

① 釧路管内AT関連事業者冊子(日本語)の更新・増刷



KUSHIRO ADVENTURE TRAVEL MAP くしろ冒険地図 世界に誇る冒険フィールド北海道くしろ

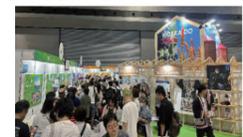
釧路総合振興局のホームページからダウンロード可能です →



② 横浜・名古屋での釧路管内ATのPR



モンベルフレンドフェア 出展時の会場風景7月5日～6日(横浜)



ツーリズムEXPOジャパン 出展時の会場風景9月25日～28日(名古屋)

(2) ガイド・観光関連団体等のネットワーク構築等に向けた取組

●道東地域のスルーガイド・コーディネーター育成セミナーを実施しました。

スルーガイド、コーディネーターの育成、道東地域のAT関係者のネットワーク構築を目的としています。

【概要】

日程: 令和8年2月15日・16日 構成: 2日間
1日目 スルーガイド研修 (座学セミナー・フィールドワーク)
2日目 コーディネーター研修 (座学セミナー・ワークショップ)

●情報発信・普及活動

◆ワンダグリンドプロジェクトの推進

- 参加団体の活動状況をホームページに掲載 (参加団体52団体・個人)

◆自然再生事業の普及啓発

- 様々なイベントでの普及啓発
- KUSHIRO FUTURE NATURE(9/20)
- 鶴居村ふるさとまつり(9/23)
- 釧路湿原再生事業のパネル展示や釧路湿原自然再生の効果を体験できる模型の展示、釧路湿原のVR体験(ドローン映像)など
- まなトピア2025(11/8-9)

◆ウェブサイトへの情報掲載

- 「みんなで進める!釧路湿原の自然再生」への情報掲載
- イベントカレンダーへのイベントの掲載
- メールニュースの配信及びウェブサイトへの掲載



◆パネル展示 KUSHIRO FUTURE NATURE(9/20)



◆模型展示 鶴居村ふるさとまつり(9/23)



イベントカレンダーはこちらから



イベントカレンダー

●市民講座の実施

参加対象: 一般市民

●釧路湿原を知る!楽しむ!

はじめての釧路湿原 ～達古武～ 夢ヶ丘展望台を目指して達古武歩道を歩こう!

- 日時: 令和7年10月25日(土)9:30～13:00
- 参加者: 12名(定員20名、応募者37名、欠席8名)
- 場所: 達古武キャンプ場(出発前解説)、達古武遊歩道～達古武夢ヶ丘展望台往復
- 案内人: 新庄 久志 委員(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)



参加者の感想
・湧き水のpHを測るなど、初めての体験でとても楽しかった!
・案内人の新庄さんの解説が分かりやすく勉強になりました!
・一人で歩いても分からないことをたくさん知れました!

●フィールドワークショップの実施

参加対象: みんなの湿原小委員会委員、ワンダグリンド・プロジェクト2025参加者

- 地域産業との連携を学ぶ
- 日時: 令和8年1月21日(水)9:20～13:20(現地解散12:20)
- 参加者: 16名(定員20名、応募者18名、欠席2名)
- 場所: 標茶町ヌマオロ 「株式会社ホクチクファーム様 標茶分場」及びヌマオロ地区旧川復元事業地
- コーディネーター: 新庄 久志 委員(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)



◆ホクチクファーム様見学状況



◆ヌマオロ地区旧川復元事業地見学状況

開催内容
「株式会社ホクチクファーム様」の資源循環型の畜産の取組を見学し、ヌマオロ地区旧川復元事業地にて直線河道の埋戻しと今後のモニタリングの観点について現地確認をしました。

●釧路湿原学習支援プラットフォーム 令和8年からの試行版

学校での湿原学習の取組を地域関係者が協力して支援するプラットフォームの設置を目指し、試行版の運用を開始します。

関係者が情報を共有し、支援を調整・連携する場として設置

